

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能



かん けい ば しょ
関係のある場所

き ふ ね じん じゃ
・貴布禰神社



きふねじんじゃのなつまつり(わくぐり)

貴布禰神社の夏祭り(輪くぐり)

新高総早倉
見梁社島敷
市市市町市

矢掛町

井浅里笠
原口庄岡
市市町市



ぎょう じ

この行事について

き ふ ね じん じゃ きょうと きふねじん じゃ さい じん げんろくねんかん ふん し つた だいたい びつちゅうにわ せ はん しゅ
貴布禰神社は京都の貴船神社の祭神を元禄年間に分祀したと伝えられ、代々、備中庭瀬藩主
いたくらせつのかみ き かんしよ げんざい びょうきかいふく せんちゅう へい し ぶ じ きがん
板倉摂津守の祈願所でした。現在は病気回復、戦中は兵士の無事を祈願していました。

き ふ ね じん じゃ なつまつ そう だい ちゅうしん ち いきじゅうみん あつ ちがや たば わ つく わ
「貴布禰神社の夏祭り」は、総代を中心に地域住民が集まって、茅を束ねて輪を作り、その輪を
むびょうそくさい いの はじ すさのおのみこと あくびょう りゅうこう とし ちがや わ つく
くぐり、無病息災を祈りました。始まりは、素戔鳴尊が、「もし悪病が流行した時、茅で輪を作り、
これをつけていれば災難を逃れられる」とお告げをした『備後風土記』の故事にちなんでいま
まつ きゅうれき がつ にち おこな げんざい がつだい どようび おこな
す。祭りは、旧暦の6月30日に行われていましたが、現在は8月第1土曜日に行われていま
ふくよりさま や かげちょうよこだに どうつうさま あさくちしよりしま あ びつちゅう だいき かんしよ ひと えど
す。福頼様(矢掛町横谷)、道通様(浅口市寄島)と合わせて、備中の3大祈願所の一つです。江戸
じだい おかやまほうめん しん じゃ さか みちしるべ た まつ ろてん おお しゅつ
時代から岡山方面にも信者があり栄えておりました。道標も建てられ、祭りには露店も多く出
てん
店され、にぎわっていました。

げんざい ち いきじゅうみん こ かい ちゅうしん ゆうがた ち わ こ すもう ほうのう
現在は、地域住民や子ども会が中心となって、夕方から「茅の輪くぐり」、子ども相撲の奉納を
しています。その後、盆踊りをして、夏の夜を楽しんでいます。また、地域住民の手で露店が出さ
れ子どもたちの楽しみとなっています。